梁川流域の

流的な行事と芸能

しんこうさい

新高総 見梁社 市市市

倉矢井浅里笠 敷掛原口庄岡 市町市市町市





◇この行事について

つる さき じん じゃ しん こう さい かん ぽう がん ねん 鶴崎神社の「神幸祭」は、寛保元年(1741年)に始まりました。当時は、今の早島町弁才天の かみ さま きゅうけいじょ もう 丘の上(御休所)へ神輿を担ぎ上げ、御休場という神様の休憩所を設けて、御旅所祭を行ってか ら神社に帰っていました。この御休所は、近くの厳島神社から続く巨岩でできた小高い丘で、そ の昔御旅所祭を行ったと思われる社殿の土台になった石が残っています。

めい カ ねん いま はや しまちょうしお つ りゅうじんじゃ りゅうじん やま お たび しょ せっ ち とし 明和2年(1765年)、今の早島町塩津の龍神社がある龍神山に御旅所が設置され、この年 から龍神社への御神幸が始まりました。

今は、神幸ルートを大幅に拡大して、西田、高須賀、早高、弁才天、片田、塩津、前潟、船本を2基 の神輿を中心に150名の人や鬼などが巡行します。また、「神幸祭」に併せ各地で子ども神輿 も巡行します。